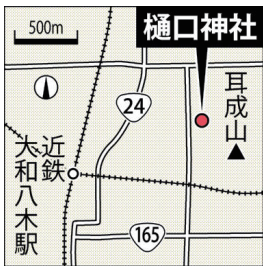




樋口神社の拝殿 檀原市で



樋口神社 (檀原市)

推古天皇の行宮跡

樋口神社は大和三山の一つである耳成山西側の檀原市木原町にあり、集落の北の端に西面して鎮座しています。神社から50ほど北側には寺川の支流である米川が流れています。集落

の東側には木原坂と呼ばれる耳成山への登山道の一つがあり、弘法大師ゆかりの井戸が残されています。ごんまりと整えられた境内には割拝殿、その奥に本殿があります。拝殿は切妻造、棧瓦葺きで、明治以降の絵馬が多数残されています。本殿は幅63・5、奥行き1

です。蘇我馬子と共に政治を行ったわが国初の女性天皇であるとい承されています。

(住所) 檀原市木原町272
 (祭神) 豊饌炊屋姫命
 (交通) 近鉄大和八木駅から東へ徒歩約30分
 (拝観) 境内自由
 (駐車場) なし (電話) なし

日本書紀には601年(推古天皇9)年に天皇が耳梨行宮へ行幸した際、大雨が降って、近くの川の水が行宮に流れ込んだと記されています。この川が神社の北側を流れる米川だと伝えられ、近くには「テンノウバタ」という地名もあったことから、神社付近が行宮跡であると伝承されています。

(奈良まほろばソムリエの会会員 戸尾知子)